

脳卒中医療体制検討特別委員会

(令和4年度)

脳卒中医療体制検討特別委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 脳卒中医療体制検討特別委員会

委員長 堀江 信貴

I. はじめに

令和元年に、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病、その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が施行され、令和2年に、国の「循環器病対策推進基本計画」が策定された。

広島県では、令和3年度、基本法第11条第1項に基づき、国の計画を基本として、広島県の循環器病に係る実情を踏まえ、その特性に応じた「広島県循環器病対策推進計画」を策定した。脳卒中は、発症した患者の生命や健康に重大な影響を及ぼす病気であり、脳血管疾患は広島県の死亡原因の第4位となっている。

人生100年時代を迎える中、循環器系の疾患は加齢とともに増加する傾向にあることから、高齢者人口がピークを迎えると見込まれる令和22(2040)年を見据え、「広島県循環器病対策推進計画」に基づき、循環器病対策を総合的かつ計画的に推進していくため、脳卒中の地域連携パスの活用促進・運用等に係る協議を行った。広島県の循環器病対策の推進体制を資料1に示す。

II. 具体的な委員会報告

委員会の開催は以下の2回行った。

1. 令和4年度第1回委員会

令和4年7月28日(木) WEB会議

【協議事項】

1. 広島県循環器病対策推進計画について

広島県健康づくり推進課より、広島県循環器病対策推進計画について説明があった。「安心▷誇り▷ひろしまビジョン」「第7次保健医療計画」「健康ひろしま21(第2次)改訂版」等の関連計画との整合や調和を図りながら基本的な方向性を定めるため広島県循環器病対策推進計画を策定している。広島県における循環器病を取り巻く現状は、脳血管疾患と心

疾患の入院受療率は減少傾向にあるものの全国平均を下回るよう、①循環器病の発症予防・重症化予防・再発予防【予防】、②循環器病に係る質が高く適切な保健医療提供体制の確保【医療】、③循環器病患者の意思や希望が尊重され、安心して暮らせる社会の構築【共生】の3つのテーマで取り組む計画である。

2. 広島県地域保健対策協議会脳卒中医療体制検討特別委員会について

本委員会は広島県循環器病対策推進協議会の部会に位置付けられ、「広島県循環器病対策推進計画」や「広島県保健医療計画」の策定・進捗管理、「ひろしま脳卒中地域連携パス」の活用促進等を協議する予定である。

3. 脳卒中地域連携クリティカルパスについて

本県では、平成21年度に、県内共通版の地域連携パスが作成され、平成28年度の改訂で「ひろしま脳卒中地域連携パス」が作成され運用されている。平成31年3月と令和2年1月にパスの使用状況調査を行い、急性期医療機関・回復期医療機関・生活期医療機関・介護サービス事業所から回答を得た。パスを利用している機関においてはパスのメリットに関する回答が多くあったが回復期医療機関から生活期医療機関、介護サービス事業所のように初回治療から離れるほどパスを適用した患者が少なくなるといったことも分かった。急性期医療機関では患者情報のフィードバックを望む声もあり、パスを継続して利用してもらえるよう説明会を開催することについて意見があった。

4. ひろしま脳卒中地域連携パスデータ分析要領(案)について

広島県循環器病対策推進計画に基づき、広島県の脳卒中患者の傾向や状態変化等を把握することにより、発症から在宅復帰までの地域連携体制の構築を図るため、ひろしま脳卒中地域連携パスの急性期・

回復期・生活期の記載データを集計、分析することとした。

本調査においてはパス発行時の同意確認の際にデータ分析についても同意していただく。なお、本分析は広島大学の倫理審査委員会に諮る予定である。

2. 令和4年度第2回委員会

令和5年2月1日（水）WEB会議

【協議事項】

1. 広島県循環器病対策推進計画 施策の取組状況について

広島県健康づくり推進課より、資料2のとおり広島県循環器病対策推進計画における「脳卒中対策」の施策の方向性の確認および、今年度と今後の取組内容について報告があった。

2. 第2次広島県循環器病対策推進計画について

第2次広島県循環器病対策推進計画については、現計画策定から1年と間もないことから、現計画の大枠を維持しつつ、進捗状況や国の第2期基本計画を踏まえ、必要な修正を加える。また、令和5年度が健康ひろしま21や高齢者プラン等の保健・医療等の他の関連計画が一斉改定予定であるためこれらの計画との調和を図りつつ、医療計画との一体化により機能的かつ効果的な進捗管理が期待できることか

ら、本計画の内容を広島県保健医療計画に包含する方向で取り組む。

3. ひろしま脳卒中地域連携パスデータ分析の状況について

ひろしま脳卒中地域連携パスデータを令和5年1月1日から令和6年3月31日（調査対象は令和5年12月31日分）までの調査期間とし、資料3のとおり実施していく。委員長よりHMネットを活用したデジタルでの提出を促す発言があった。

4. 脳卒中地域連携パスに係る地域での連携の会の実施状況について

脳卒中地域連携パスのより効果的な活用に向け、県内各地域におけるパス活用に当たっての課題の把握、共有等を行うため、診療報酬「A246 入退院支援加算 地域連携診療計画加算」の施設基準「連携機関の職員と当該保険医療機関の職員が、地域連携診療計画に係る情報交換のために、年3回以上の頻度で面会し、情報の共有、地域連携診療計画の評価と見直しが適切に行われている。」を満たす医療機関63施設に対し、地域での連携の会の新型コロナウイルス感染症の影響のある令和4年度実施状況・取組状況及び令和5年度の活動予定等について調査を実施することとなった。

令和4年度以降の循環器病対策の推進体制

広島県循環器病対策推進協議会

広島県循環器病 対策推進協議会

【協議内容】

「広島県循環器病対策推進計画」の策定・進捗管理等

「広島県保健医療計画」の策定・進捗管理等

【委員】

広島大学脳神経内科医1名、脳神経外科医1名、循環器内科医1名、心臓血管外科医1名、医師会、病院協会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会各1名
県リハハC、地ケアC各1名
国保連1名、患者2名
消防1名、市町1名、県1名
計17名

脳卒中医療体制検討特別委員会【地対協】

※広島県循環器病対策推進協議会の部会に位置付ける

【協議内容】

「広島県循環器病対策推進計画」の策定・進捗管理等、「広島県保健医療計画」の策定・進捗管理等、「ひろしま脳卒中地域連携パス」の活用促進等

心血管疾患医療体制検討特別委員会【地対協】

※広島県循環器病対策推進協議会の部会に位置付ける

【協議内容】

「広島県循環器病対策推進計画」の策定・進捗管理等、「広島県保健医療計画」の策定・進捗管理等、心血管疾患に係るレジストリー研究(患者の発症状況の調査・分析)等

循環器病相談支援・情報提供推進部会

【協議内容】

脳卒中及び心血管疾患の予防や正しい知識の普及啓発、情報提供・相談支援、後遺症を有する人への支援、治療と仕事の両立・就労支援等

心臓いきいき推進会議【広島大学病院心不全センター】

【協議内容】

心不全患者の支援、心臓リハビリテーションの推進、「心筋梗塞・心不全手帳」の活用促進等

【委員】

広島大学病院、地域心臓いきいきセンターの医師、看護師、理学療法士、作業療法士等

広島県循環器病対策推進計画 施策の取組状況（令和4年度の取組及び令和5年度の取組の方向性）

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

区分	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組の方向性
①栄養・食生活 ②身体活動・運動 ③休養 ④飲酒 ⑤喫煙 ⑥適正体重 ⑦成人期の歯・口腔の健康 ⑧基礎疾患	<p>【共通】</p> <p>《ひろしま健康づくり県民運動推進会議》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま健康づくり県民運動推進会議ホームページによる健康づくりイベント等の情報提供 ・ひろしま健康づくり県民運動推進会議において、健康づくりイベントの開催、健康に関するインターネットアンケート調査の実施 <p>《エミタス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療・介護・保健情報総合分析システム」を活用し、市町国保等の医療費の状況(1人当たり医療費等)や、市町ごとの医療・介護サービスの利用割合を分析し、県ホームページで公表 <p>《市町事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町の「健康づくりポイント事業」を情報発信し、取組を支援 ・市町が行う健康増進事業への財政支援 <p>《薬局》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康サポート薬局研修会の開催 <p>《圏域地対協》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次保健医療圏域の保健・医療・福祉を総合的に推進するため、圏域地対協において、県全体の計画「健康ひろしま21（第2次）」との整合を図りつつ、圏域固有の健康課題の解決に向けた取組を実施 <p>《健康経営》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康経営優良企業を表彰し、その取組を県ホームページ等で紹介 表彰企業数：3社（R4年度） 計9社（R2年度の制度創設以降） ・「健康経営」導入・継続セミナーの開催、協会けんぽの「ひろしま企業健康宣言」へのエントリーの働きかけの実施 ・デジタル技術を活用した健康を維持する行動を身に付けるための実証試験を実施（参加：県内企業等約50団体の約1,300人） <p>【栄養・食生活】</p> <p>《健康生活応援店》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品関連事業者に健康生活応援店の認証を働きかけるとともに、認証状況を県ホームページに掲載して県民の利用を促進 認証店舗（延べ店舗数）：1,873 店舗（R4.12末現在） 《ひろしま食育・健康づくり実行委員会》 ・ひろしま食育・健康づくり実行委員会（実行組織）において、けんこうチャレンジ等による啓発活動、野菜摂取量の増加の取組（ベジフルチャレンジ、ベジチェック測定会）、県内大学と連 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの県民が健康づくりを実践するよう、イベント情報などの発信方法を工夫していく。 ・保険者のデータヘルスを推進するため、分析データの精度向上、内容の充実を図る。 ・引き続き、市町等の取組を支援していく。 ・「健康ひろしま21（第2次）」の進捗状況を踏まえ、引き続き、各圏域の健康課題の解決に取り組む。 ・「健康経営」の考え方の浸透と「健康経営」を実践する企業の拡大を促進していく。

区分	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組の方向性
	<p>携した朝食摂取啓発の取組等を実施</p> <p>《ひろしま健康づくり県民運動推進会議》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま健康づくり県民運動推進会議において、生活習慣病予防レシピを作成・公開《企業連携》 ・企業と連携した食育啓発や、野菜摂取を促すためのレシピ集作成など情報発信を実施 <p>【飲酒】</p> <p>《発症予防・早期発見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール関連問題週間等における普及啓発（冊子「そのお酒、本当に楽しい？」の作成配付） ・かかりつけ医等を対象としたアルコール健康障害サポート医の養成 <p>《依存症への対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・依存症治療拠点機関による依存症（アルコール）に関する医療従事者向け研修会の実施 ・精神科医等を対象とした広島県アルコール健康障害サポート医（専門）の養成 ・依存症治療拠点機関による広島県依存症（アルコール）専門医療機関の連携会議・研修会の実施 ・依存症（アルコール）専門医療機関を指定（13施設） <p>【喫煙】</p> <p>《健康増進法、広島県がん対策推進条例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県ホームページや広報誌等を活用して、健康増進法、広島県がん対策推進条例による受動喫煙防止対策の周知、対象施設の管理者等に対する相談指導等を実施 ・施設における受動喫煙対策の状況を把握し、今後の対応を検討するため、実態調査を実施 <p>《Teamがん対策ひろしま》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Teamがん対策ひろしま」登録企業内における禁煙支援、受動喫煙防止対策等を支援 《世界禁煙デー、禁煙週間等》 ・「世界禁煙デー」や「禁煙週間」等において、ポスターの掲示等により、喫煙・受動喫煙による健康被害の普及啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、企業と連携して情報発信等を行う。 ・引き続き、不適切な飲酒を防止する取組を継続していく。 ・引き続き、周知啓発、相談指導等を実施していく。 ・企業等との連携強化により、禁煙支援、受動喫煙防止対策等を推進していく。 ・「世界禁煙デー」や「禁煙週間」の取組を継続するとともに、喫煙による健康被害を県ホームページや広報誌等に分かりやすく掲載し啓発していく。

2 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

区分	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組の方向性
(1) 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進	<p>《周知・受診勧奨等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHKラジオ、新聞、マツダスタジアムのアストロビジョン、ホームページ等を活用して情報発信を行い、特定健康診査・特定保健指導の制度周知や受診勧奨を推進 ・特定健康診査実施率向上に向けて、A I（人工知能）を活用した受診勧奨の推進 <p>実施市町：20 市町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会けんぽ被扶養者へがん検診啓発特使の肖像を利用したハガキにより、がん検診と特定健康診査の受診勧奨を実施 <p>実施市町：21市町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会けんぽ加入企業へ「がん対策職域推進アドバイザー」が個別訪問し、生活習慣病予防健診（特定健康診査とがん検診を含む）の利用を促進 <p>《環境整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療保険者に対し、土・日健診、レディース健診（女性のみを対象）、託児を考慮した健診、特定健康診査とがん検診との同時実施など、受診しやすい環境整備を推奨 <p>《県保険者協議会》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①特定健康診査受診強化期間キャンペーンの実施 ②人材育成研修会の開催（WEB開催） <p>基礎編受講者：95 人 技術編受講者：93 人</p> <ol style="list-style-type: none"> ③ホームページを活用した情報提供 <p>集合契約の状況、人材育成研修会の開催要領・研修資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、特定健康診査・特定保健指導の必要性の理解促進を図っていく。 ・引き続き、市町でのA I（人工知能）を活用した受診勧奨を推進していく。 ・引き続き、効果的な受診勧奨に取り組むとともに、受診しやすい環境を整備していく。 ・引き続き、特定健康診査、特定保健指導に関わる医師、保健師等の技術力の向上に取り組んでいく。
(2) 救急搬送体制の整備	<p>【共通】</p> <p>《メディカルコントロール協議会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディカルコントロール協議会において、救急患者の受け入れ困難解消に向けた対応策を協議 <p>【脳卒中関係】</p> <p>《日本脳卒中協会広島県支部、地対協：脳卒中医療体制検討特別委員会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中月間（10月）に、日本脳卒中協会広島県支部で広島大学病院内のモニメントのライトアップ（インディゴブルー）を実施 《ジャストスコア》 ・広島市域を中心として、脳血管内治療を必要とする患者を迅速に治療実施。可能な専門医療機関へ搬送して治療を行うために、脳卒中の可能性や脳卒中の病型をインターネットで判定できる「ジャストスコア」の運用継続 <p>【心血管疾患関係】</p> <p>《消防機関、市町等の講習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性心筋梗塞等の心血管疾患の初期症状に気づくための啓発や、発症時の対応に関する情報提 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、救急搬送体制の充実を図っていく。 ・引き続き、取組を継続していくとともに、一般県民向けの公開講座の開催を検討する。

区分	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組の方向性
	<p>供等の推進</p> <p>【一般県民への講習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防機関、市町等におけるAED（自動体外式除細動器）を含めた救急蘇生法の講習会等の支援 ・急性心筋梗塞発生時及び再発時の応急処置に関する一般市民への普及啓発の実施 <p>※応急手当普及啓発講習会受講状況（R2）</p> <p>普通・上級救命救急講習会：開催回数 722 回 受講者数 10,417 人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、消防機関、市町等の一般県民向け講習の実施を支援していく。
(3) 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築	<p>【脳卒中関係】</p> <p>《地対協：脳卒中医療体制検討特別委員会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中医療体制検討特別委員会において、「ひろしま脳卒中地域連携バス」の活用促進に係る協議・検討を実施 ・「ひろしま脳卒中地域連携バス」の運用に係る調査・分析を開始 <p>【心血管疾患関係】</p> <p>《地対協：心血管疾患医療体制検討特別委員会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心血管疾患に係るレジストリー研究（患者の発症状況の調査・分析）開始に向けた検討を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスに係る調査・分析を継続し、維持期の医療機関等への普及促進など運用状況に応じた地域別の対策を検討していく。 ・研究開始し、結果をまとめ、発症状況に応じた地域別の対策を検討していく。
(4) 関係機関の連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援	<p>【共通】</p> <p>《在宅医療》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県医師会と連携し、在宅医療に取り組む医師、ケアマネジャー、訪問看護師等に対し、困難事例などの対処方法等の研修を県医師会ホームページに掲載 ・要介護者等の退院時の状況等を把握するための退院調整等状況調査や病院、診療所、歯科医療機関、薬局、訪問看護事業所への医療機能調査を実施し、結果等を県ホームページへ掲載 ・在宅医療推進医等を指導者とする同行研修への支援、地域包括支援センター等職員に対して自立支援型ケアマネジメント研修等の実施 ・在宅医療・介護連携の従事者向けに、「循環器病（脳卒中・心血管疾患）に係る地域連携セミナー」をオンライン開催（開催回数1回） <p>【脳卒中関係】</p> <p>《ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）を活用したひろしま脳卒中地域連携バスの共有方法の周知 <p>【心血管疾患関係】</p> <p>《心臓いきいき推進》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関等の関係者と介護サービス事業者の情報共有、連携の強化に努め、発症から在宅復帰までの地域連携体制を推進していく。 ・引き続き、関係者向けのセミナーを開催する。 ・バスの利用率が低い維持期の医療機関等にバスの普及を図り、医療と介護の連携を強化していく。

区分	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・「心臓いきいき推進会議」（年3回）を開催し、専門治療の提供等に係る各圏域の取組や課題等を共有。同会議の部会である「心臓いきいきコアメンバー会議」（年2回開催）を開催し、各課題に対する対応策を検討 ・在宅での患者を支援する「心臓いきいき在宅支援施設」を設置し（R3年度末388施設）、心不全センター及び各圏域心臓いきいきセンターによる支援を実施 ・地域心臓いきいきセンターによる在宅支援施設の医療・介護従事者の専門的な知識向上を目的としたオンラインによる専門研修（「キャラバン研修会」）の実施（開催回数1回） ・地域心臓いきいきセンターによる各圏域の連携体制強化のためのオンラインによる症例検討会の実施（開催回数1回） ・「心筋梗塞・心不全手帳」の配布 配布部数：9,319部（R3年度） 累積配布部数：70,202部（H23～R3年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、高齢化の進行に伴い、増加していく心不全患者に対応していくため、引き続き、各圏域の専門治療等の提供体制を充実させていく。
(5) リハビリテーション等の取組	<p>【脳卒中関係】</p> <p>《ひろしま脳卒中地域連携バス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしま脳卒中地域連携バス」の活用促進により、急性期～回復期～維持期の各病期に応じたリハビリテーションを推進 <p>【心血管疾患関係】</p> <p>《心臓いきいき推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島大学病院心不全センターや各圏域心臓いきいきセンターにおいて、入院時の多職種カンファレンスや心血管疾患リハビリテーションを実施 ・入院患者及び退院前患者の多職種カンファレンスの実施と、退院後の食事・服薬指導、運動療法等を多職種チームで支援し指導する仕組みづくりの普及 《心筋梗塞・心不全手帳》 ・「心筋梗塞・心不全手帳」により、リハビリテーションなどの患者情報を関係機関が共有し、在宅療養が可能な体制づくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域連携バスの活用促進等により、病期に応じたリハビリテーションを推進していく。 ・引き続き、入院時の多職種カンファレンスや心血管疾患リハビリテーションの実施体制を確保するとともに、退院後も適切な在宅療養ができる環境を整備していく。
(6) 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援	<p>【脳卒中関係】</p> <p>《循環器病相談支援・情報提供推進部会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器病相談支援・情報提供推進部会において、患者とその家族への医療、介護及び福祉サービスに係る必要な情報提供等に係る協議・検討を実施 <p>【心血管疾患関係】</p> <p>《心臓いきいき推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域心臓いきいきセンターにおける「心臓病教室」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、部会で検討していくとともに、日本脳卒中協会との協同で一般県民向けの公開講座の開催について検討する。 ・引き続き、地域心臓いきいきセンタ

区分	令和4年度の取組状況	令和5年度の取組の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・広島大学病院心不全センターにおいて作成した動画（DVD）を地域心臓いきいきセンターに配布し、活用 ・地域心臓いきいきセンターによる市民公開講座の実施（開催回数4回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・一等と連携し、啓発活動を実施していく。
(7) 循環器病の緩和ケア	<p>《心臓いきいき推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域心臓いきいきセンターが、医療機関等の職員向けに、慢性心不全の患者等に対する緩和ケアに係る研修会を開催（開催回数1回） 《ACP（アドバンス・ケア・プランニング）》 ・福祉・介護業界の最新情報を発信する無料の情報誌「Gentle（ジェントル）」（2022年9月号）での啓発広告掲載 ・市町へ「Gentle」で作成したイラストデータの無償提供 ・ラジオ番組での啓発 令和4年12月22日（木） RCCラジオ 「本名正憲のおはようラジオ」 令和5年1月11日（水） NHKラジオ 「おはよう中国」 ・ACP普及推進員フォローアップ研修を令和5年1月15日に実施し、90名が参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域心臓いきいきセンターと連携し、医療機関等の職員向けの研修会を開催する。 ・引き続き、県民や医療・介護等の専門職に対し、ACPの啓発を実施すると共に、ACP普及推進員のフォローアップ研修等を実施していく。
(8) 循環器病の後遺症を有する人に対する支援	<p>《循環器病相談支援・情報提供推進部会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器病相談支援・情報提供推進部会において、てんかん患者や後遺症を有する人に対する支援に係る協議・検討を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、部会で検討していく。
(9) 治療と仕事の両立支援・就労支援	<p>《循環器病相談支援・情報提供推進部会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器病相談支援・情報提供推進部会において、患者の治療と仕事の両立や復職・就労支援に係る協議・検討を実施 ・医療・介護関係者、地域包括支援センター職員、産業医、産業看護職、衛生管理者、労務担当者、人事担当者、行政職員等向けに、「循環器病（脳卒中・心血管疾患）に係る治療と仕事の両立支援セミナー」を開催（開催回数1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、部会で検討していくとともに、関係者向けのセミナー開催について検討する。
(10) 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策	<p>《循環器病相談支援・情報提供推進部会》</p> <p>（令和5年度以降検討予定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部会で検討していく。

ひろしま脳卒中地域連携パスデータ分析の状況について

1 目的

広島県循環器病対策推進計画（令和4年3月策定）に基づき、広島県の脳卒中患者の傾向や状態変化等を把握することにより、発症から在宅復帰までの地域連携体制の構築を図る基礎資料とするため、ひろしま脳卒中地域連携パス（以下「地域連携パス」という。）の急性期・回復期・生活期の記載データを集計し、分析する。

2 分析実施者等

別紙「ひろしま脳卒中地域連携パスデータ分析要領」のとおり。

3 調査期間

令和5年1月1日～令和6年3月31日
（調査対象は令和5年12月31日分まで）

4 参加医療機関

1	広島大学病院 脳神経外科, 脳神経内科
2	広島市立広島市民病院 脳神経内科
3	広島市立北部医療センター安佐市民病院 脳神経内科
4	県立広島病院脳神経外科・脳血管内治療科
5	日比野病院 脳神経外科
6	呉医療センター 脳神経内科
7	独) 労働者健康安全機構 中国労災病院 脳神経内科
8	東広島医療センター 脳神経外科
9	JA 尾道総合病院 脳神経外科
10	脳神経センター大田記念病院 脳神経内科
11	市立三次中央病院 脳神経外科
12	医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 脳神経外科
13	医療法人清泉会 一ノ瀬病院
14	医療法人翠清会 梶川病院 脳神経外科
15	広島赤十字・原爆病院 脳神経外科
16	マツダ病院 脳神経外科
17	呉共済病院 脳神経外科
18	尾道市立市民病院 脳神経外科
19	福山市民病院 脳神経外科

ひろしま脳卒中地域連携パスデータ分析要領

1 目的

広島県循環器病対策推進計画（令和4年3月策定）に基づき、広島県の脳卒中患者の傾向や状態変化等を把握することにより、発症から在宅復帰までの地域連携体制の構築を図る基礎資料とするため、ひろしま脳卒中地域連携パス（以下「地域連携パス」という。）の急性期・回復期・生活期の記載データを集計し、分析する。

2 分析実施者

広島大学病院、広島県

3 分析内容

県内の地域連携パスの運用状況、患者情報及び疾患別・各期の状態等

4 対象医療機関

広島県循環器病対策推進計画に記載の急性期医療機関のうち、地域連携パスを利用している医療機関

※当該急性期医療機関は、発症前情報、急性期のパスに加え、回復期及び生活期の連携先から送付された地域連携パスを広島県に提出する。

5 調査期間

令和5年1月1日～令和6年3月31日
（調査対象は令和5年12月31日分まで）

6 分析対象データ

「ひろしま脳卒中地域連携パスに関する説明書・同意書」により同意した患者の発症前情報、急性期、回復期、生活期データ

地対協HP <https://citaikyo.jp/pass/nousotchu.html>

7 急性期医療機関からのデータ提出方法

回復期及び生活期医療機関等から急性期医療機関にパスが送付されてきた場合に、データを匿名化し、次のいずれかの方法で、急性期医療機関から県に、原則エクセルデータにより提出する。

※ 各医療機関において提出する順に個人毎の番号を付し、ファイル名を「〇〇病院_0001（連番）」とすること。（紙の場合は、各パスに番号を記載すること。）

- (1) 郵送によりエクセルデータを保存したCD-Rを提出
- (2) HMネットのHM-Boxを利用し、エクセルデータ又はPDFデータを提出
- (3) 郵送により紙媒体を提出

【匿名化】

発症前情報の次のデータを削除又は黒塗りしたものを提出する。

- ・患者名 ・生年月日 ・患者住所 ・電話番号 ・緊急連絡先
- ・キーパーソン ・主たる介護者の氏名 ・自由記載欄等に記載の個人情報

8 急性期医療機関からのデータ提出時期

事象	提出時期	提出パス
回復期パスが送付されてきた場合	回復期から送付された月の翌月末日まで	発症前情報+急性期+回復期
生活期パスが送付されてきた場合	生活期から送付された月の翌月末日まで	【エクセルの場合】発症前情報+急性期+回復期+生活期（原則全て） 【紙の場合】発症前情報+生活期

9 倫理的配慮

広島大学病院の倫理審査委員会において承認を得ている。（許可番号 E2022-0218）

附則 この要領は、令和4年12月23日から施行する。

広島県地域保健対策協議会 脳卒中医療体制検討特別委員会

委員長	堀江 信貴	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学
委員	丸山 博文	広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学
	阿美古 将	JA 尾道総合病院
	荒木 勇人	荒木脳神経外科病院
	石橋 里美	県立広島病院
	上田 猛	広島大学病院救急集中治療科
	大下 智彦	呉医療センター・中国がんセンター
	大田 泰正	脳神経センター大田記念病院
	岡崎 美保	広島県介護支援専門員協会
	岐浦 禎展	県立広島病院
	木矢 克造	日比野病院
	栗栖 薫	中国労災病院
	黒木 一彦	JA 広島総合病院
	郡山 達男	脳神経センター大田記念病院
	五郎水 敦	広島県言語聴覚士会
	貞友 隆	東広島医療センター
	高木 節	広島県作業療法士会
	坪河 太	公立みつぎ総合病院（広島県リハビリテーション支援センター）
	遠山 郁也	広島市健康福祉局保健部医療政策課
	豊田 章宏	中国労災病院
	中西 敏夫	広島県医師会
	西野 繁樹	広島県医師会
	野村 栄一	広島市立広島市民病院
	浜崎 理	市立三次中央病院
	廣澤 隆行	広島県理学療法士会
	藤原 薫	広島県地域包括ケア推進センター
	松尾 裕彰	広島県薬剤師会
	松田 貴志	広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課
	南 亮介	広島県健康福祉局健康づくり推進課
	森本 進	広島県歯科医師会
	山下 拓史	広島市立北部医療センター安佐市民病院